

あらう。然し是等の接續市に於ても工場の盛大なる地たとへば王子の如き、本所深川邊の如き、必ずしも空氣清潔とはいひ難い、否却て都會の或る地域よりは却つて空氣の汚れて居るべきは彼のむらむらと立ちのぼる煤烟、時には天日を蔽ひ、曇れる空におほひかゝる黒烟によりてトすることが出来る。よしや郊外の空氣が又非常に清潔であつたとしても、人によりては其處に住まふことの出來ぬ事情がある。それは自己の職業によりてはとうしても市中に住むを要するものがあらう、勤務の都合によりては遠方より通ふことを不可能とするものがあらう。よしや交通機關は如何に便利なりとも、之を利用することの出來ぬものもあらう(まだある)

如何なる兒童が取扱に

骨が折れるか

峯 間 信 吉

普通教育も次第に進歩して來て、中々兒童の取扱

も上手になつたのであるが、之れを教化するには實に骨が折れる。其骨の折れる中でも、どんな種類の兒童が最も取扱ひに困難を感じ、教化し難いかと云ふに

悪い家庭から來る兒童

悪い家庭から來る兒童が最も困難である。元來兒童の學校に居る時間は、頗る短時間で、一日中の大部分は家庭にあるものであるから、若し其の家庭が悪かつたら、それが骨身に沁み込んで、到底學校の訓育位では感化し難い。通常の家庭に於いては、學校の先生に言ひ附けるとか、罰して貰ふとか云つて、威しなげながらも教へ込むことが出來、學校でも良家庭の兒童であつたなら、家庭と相待つて好果を得ることも出來るが、家庭の悪いのばかりは如何なる事も出來ない。兒童はそんなに悪くなくとも、家庭が悪ければ、折角學校で作り上げやうとするのを毀して仕舞ふ。實際斯かる例は少くないので、例へば暑中休暇に學校で兒童に或る課題を授けて、少々なりとも休暇中のつなぎ

にしやうと思ふと、或る家では「休みの中にそんなうるさい事をさせる學校には、行かなくとも宜い」などと云ふのがある。

こんな風で兒童の立派にして居るのは學校内だけで、一旦、學校から退ければ忽ち、教師や生徒間の制裁を離れ、かくして、其の生活中の多分の時間を悪い家庭で過ごした兒童は、少々呑込みの遅い兒童や、腕白なものよりは、一層の手数がかるものである。學校の教育は勿論必要ではあるが、家庭に於ける習慣や、其の他の影響と云ふものは、兒童の骨髓に入つて基礎となるものであるから、父兄たるものは最も力を此に盡さなければならぬ。

父兄不心得からの迷惑は種々ある

然るに家庭の位置は高くありながら、其の父兄の教育的精神の缺けてる爲めに、學校にまで種々な迷惑をかけるものもある。ある學校で一人の兒童が

成績が悪いから、其の父兄に對して注意をしたら、其の父兄は直ぐに區に向つて、「自分の子弟は學問さしても見込みがないさうだから、早速退學させて」と申し出た。又ある所では一人の生徒が扁桃腺を痛めて、父兄に「これは學校から傳染したのだ」と報告した。所が其の家は市内の有力家である所から、直ちに市に向つて抗議を申込み市からはそれぞれ役員を派して調査せしめた所、さる形蹟もなかつた。又之れもある有力家の兒童が教室の寒いために、風邪に罹つたら、それが爲め、其の學級の教室の變更を爲さねばならぬやうになつた。こんな例は嘘の様であるが、斯かる事が眞正にあるやうでは、教化も中々至難の事であると思はれる。

然して矯正法は如何

此等の中で、あまり宜しくない家庭の兒童は、いかにして矯正したら宜からうかと云ふに、近頃市内にも澤山建立されたる、特殊小學校に於いて、特別な教育の下に、今一層家庭と學校とを近接さ

して、教師も亦其の心掛けで始終家庭を訪問し、學課以外に於いて、其の兒童の本心からして改め、尙家庭をして其の惡しき所を矯正せしむるやうにしなければならぬ。

次に困るはズルイ兒ども

以上は兒童を家庭の從屬者と見て、説明したのであるが、兒童其のもの、上から見て、どんな兒童が一番困るか云ふに、學問の出來ない、所謂低能兒と云ふやうなものは、ズルイ意地の悪いものが一番困る。困るばかりではなく、之れが他の兒童にも惡感化、惡影響を與ふるので、一層の困難を感ずるのである。

低能兒と云つても白痴にあらざる限りは根氣よく、手数をかけて教へ込めば出來ない事はないのである。慶應義塾の幼稚舎などでは、此等の生徒の爲めに、別に一學級を設けて二三ヶ月教育しては、學課が普通の程度に進んだ時は、普通の級に歸るやうにしてある。此れは經費の上、普通の級に通つての學校では中々出來ないのであるが、唯經費の點

だけであつて、惡風に染み込んだ兒童のやうに、教化し難いと云ふやうな事はない。

不正なる職業を取る家の

の兒童

貧富や職業の別によつて取扱に難易を感ずると云ふやうな事は、まあ無いが、然し概して東京と地方では、質料と、いくらかスレて居ると云ふ所で、地方の方が教化しよいのである。然し貧しい家庭や、あまり高尚でない職業をして居る家庭では、それだけ父兄に教育の無いのがあり、又從つて譯の解らぬ人が多いのであるから、それらの子弟も幾分困難だと云ふ點はある。然し最も困難に感ずるのは、不正の商賣をして居る家の兒童である。不正の商賣をして居る家の兒童は、不正とか惡事とか、或は反對に正直とか、正義とか云ふやうな事を話すと、心にグツと感じて、頭を垂れ、顔を赤くなどする。他の生徒は又眼を見合ひ、袖を引き合つて其の兒童に注意すると云ふやうな風で、

甚だしく其の兒童に刺戟を與へる、之れが爲め一人でもこんな兒童があると、教師の骨の折れる事は一通りでない、思ひ切つて物を云ふ事も出来ないものである。然して不正の商賣をして居る家の兒童の中にも二種類ある。一は其の商賣の悪い事を知つて居つて、心から恥辱に思つて居るのと、他はもう惡風をなんとも思はないで、濟度し難いものとなつて居るのとである。前者は教へやうや、他生徒の扱様によつて、十分に教化する事が出来るものである。

最も困るは病氣の學童

まあ大體に於いて取扱に困る兒童と云ふのは、以上の如き兒童であるが、もう一つ最も大切な事がある。それは體格の悪い、病身の兒童である。此れは現今教育家の最も注意すべき所で、智育と云つても、徳育と云つても、皆之れが根本である。いかに教化しようと思つても、病氣の兒童には教ふる事が出来ない。殊に東京の兒童は體格が悪く、全國兒童の平均以下にある。胸圍や肺量等も少な

い。唯身長のみは平均以上にあるが、此れは日蔭の草のやうなもので、ヒヨロ／＼と長くなつたばかり、何も役には立たぬ。此れは東京には運動場や、遊戯場と云ふやうな處がなく、兒童は街頭に遊んでも車馬、自轉車、電車、自動車に追ひまわられて、悠々自儘に遊ぶことが出来ない、之れが因を爲したのである。東京は由來地方人の集りである、地方の豪健なる氣象を有して居つた所の者が、志を抱いて上京し、業成つて家を立て、子供は父の氣風を受けて其の家を維持して行くが三代目になつては、其の氣、其の志が無くなつて遂に都落ちと云ふやうな事になる。それで東京は常に田舎者の新陳代謝する所である。此等の事は畢竟體力の衰頹と云ふ事に基いて居ると思ふ。又日本橋、京橋邊の老舗などでも多くは子がない。子があつても弱々しい女の子である。それで番頭を養子にする。それには子があるが、其の子には又子がないので養子をする云ふやうに、總て此調子で生殖力などと云ふ方面にも、此體力と云ふことが大に關係して来る。

體格不良は困り抜く

之れを要するに、總てが今少し體育と云ふ事に重きを置かなければ、二十年、三十年の後は、大に後悔せなければならぬ事が起るだらうと思ふ。富豪が施療病院を建てるのも宜いが、もつと根本的に考へて、此等兒童の爲めに病氣に罹らないやう、運動遊戯場を設立するのが目下の急務であると思ふ。

低能兒や其の他のものは教育がし難いのであるが、病氣のものや體格不良のものには、教育が出来るないのである。之れを考へたなら、最も力を盡さねばならぬ事は此の事であると信ずる。

終りに現今の生徒は昔のやうに粗暴でなくなつた。なぐる蹴ると云ふやうな喧嘩などは、殆んど聞かなくなつた。之れは生徒が温和しくなつたのか、或はコスクなつたのか解らぬ。自分は或は後者ではないかと思ふ。どちらにも悪い所はあるがコスイと云ふことは、甚はだ寒心すべきことではあるまいか、此等の具合をよく吞込んで、適當に

取扱はなければならぬ。兒童を教化するのも亦至難な事業であると云はねばならぬ。

母としての實驗談

金森夫人談

夫人は、二十二歳をかしらに三歳まで九人の子女を有され、大學を始め、高等學校、師範學校、中學校、高等女學校、小學校、幼稚園に至るまで、いづれも子女の通學しつゝあり、斯る材料を目前にひかへて家庭教育に心をこめられつゝある其經驗談なれば其心して讀まれんことを望む。(記者)

○生長したる子女には物事を命令せずして相談すべし 男子ならば中學校時代女子ならば高等女學校時代、すなはち中等教育時代の家庭教育も極めて大切なものであります。此時代には子女自身の思慮にて大分に物事が分る様になつた爲に、學問の事は獎勵せずとも自ら油斷せぬ様になり、小學時代迄に過つて悪い習慣のつきし事なども其大部分は取返し得るものであります。放任して氣をつけよといふ育兒上の格言はいよく適切となり、